

**野地隼平さん（数理物質科学専攻・博士後期課程2年）が  
一般社団法人日本物理学会より2021年度日本物理学会  
学生優秀発表賞（領域12）を受賞しました。**

大学院自然科学研究科 数理物質科学専攻 物理学コース・博士後期課程  
2年の野地隼平さんが、2021年3月14日に開催された日本物理学会  
第76回年次大会における発表により、2021年度日本物理学会学生優  
秀発表賞（領域12）を受賞しました。

本賞は、日本物理学会が開催した2021年度の研究発表会で優秀な発  
表をした学生発表者に授与される賞で、領域12の15名の中の一人とし  
て決定したものです。

受賞テーマ：溶質近傍の数密度の不均一性が分極場のゆらぎに与える影響

学会リンク：

<https://www.jps.or.jp/activities/awards/gakusei/2021a-student-presentation-award.php>